

「地域医療構想に関する自治体等との
意見交換会」に参加された皆さんに訴えます！

本日の意見交換会で「再検証」 の白紙撤回を求めてください

地域医療を崩壊させ患者の医療を受ける権利を奪う「再検証」

厚生労働省は、9月26日、全国424の公立・公的病院に「再検証」の必要があるとして、2020年までに統廃合・再編・ベッド縮小などの計画を具体化することを要求しました。

厚労省から名指しされた多くの病院は、地方都市の病床200床未満の中小病院です。これらの病院は、地域の住民・患者、難病患者のいのちと健康の砦として奮闘していますが、医師・看護師確保の困難など、診療機能拡充に様々な困難をかかえています。地域や病院の実情を一切勘案することなく、画一的な基準で「再検証」を求めることは、地域の医療崩壊につながることは必至です。



また、厚労省が公的公立病院の名前をあげて統廃合・再編を求めることは、住民の地方自治の本旨に反すると言わざるを得ません。

公立・公的医療機関にたいする再検証の撤回を求めます

私たちは、厚労省に対し、全国の公立・公的424病院に対する「再検証」を白紙撤回し、医師・看護師の増員など、すべての医療機関の存続拡充を図ることを求めます。

本日の「地域医療構想に関する自治体などとの意見交換会」に参加された皆さん、地域の医療を守るために、厚労省の「再検証」白紙撤回を求めてください。

中央社会保障推進協議会・日本医労連

連絡先・中央社会保障推進協議会（110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 TEL03-5808-5344）

いかそう！憲法

